

外部評価シート

基本施策		基本施策の評価（内部評価）		外部評価		意見等	
1	企業立地施策の推進	企業立地課	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・企業を誘致する取り組みは、一生涯にやってもいいと思う。企業を訪問する人数を必要に応じ増員し、企業誘致を確実にしてほしい。指標の数値が目標値まで足りないものがある。 ・指数については観光商工課が携わっている部分もあるので、連携して数値を伸ばしていただきたい。 ・企業誘致には、そこで働く人材が必要である。企業に雇用される人材を育てるなど考えた誘致活動をしてもらいたい。 ・企業立地課と他部署（観光商工課等）が密に連携を取って、企業を迎えられるような市全体の体制を作っておく必要があるのではないかと。
2	男女共同参画の推進	総務課	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・女性相談事業としての臨時職員の雇用はやめていいのではないかと。理由は相談員が臨時で雇用されていて、面接の件数は年10件くらいで、ひと月に1件あるかどうか。電話は（年間）55件で1週間に1回かかってくるかどうかの業務に、2人の人を振り付けるというのは、ある意味その雇われている人はほとんど待機状態。正規職員であれば他の仕事もできるが、ほとんど待機状態の人員に年間約200万円をかけるのはどうかと思う。この業務量であれば然るべき部署の職員が業務として行えるのではないかと。それにDV被害で場合によってはシェルターの確保までしないといけない責任の重い重要な案件を、臨時で雇用されている人に任せてよいのか。臨時で雇用されている人には責任が重すぎると思う。それを考えると現体制はやめて、然るべき部署の職員が対応するなど、見直しが必要だと思う。又、男女平等の観点からは、男性にも「相談」が必要なのはいると思われ、女性相談事業というネーミングも疑問に感じる。 ・もう少し事業に関しては改善が必要だと思う。すごく大事なことで、細かく分析や調査をして、必要なところに届けることが大切。そして恒久的なものにしっかりとできないかならなければならないと思う。 ・女性相談と面談の件数が、何だか極端に少ないと感じる。これだけの件数でリポーターも考えると、ほんとに少ない人数なんだと推測した。その中で今から男女共同参画推進に関しては、女性・DV団体等を支援し、そしてそれを理解できる人数を増やしていき、この中でリーダーを育成するなど考えると、まだまだ努力の余地は考えられる。方法を少し変えれば、まだまだよくなるのではないかと。 ・市民の年代別の意識調査も必要だと思います。 ・事務事業の内容を見直してもらいたい。女性相談事業についても相談回数が少なすぎる。難しいところではあるとは思いますが、専門の相談員を一人雇用した方がよいと思う。命に係わる重要な仕事だから、ここは力を入れるところだと思う。男女共同参画の推進事業については、他の委員も言われたとおり、人が育たないし難しいので、NPOやボランティア団体などを活用するなど市民が動き出すような行政の働きかけを考えてもらいたい。
3	自然環境の保全	市民環境課	A	B			<ul style="list-style-type: none"> ・「自然環境の保全」という大きな施策なのに事業が2つしかないのが疑問。もっと予算を投じて事業を行わなければならないのではないかと感じました。 ・川内川や森林はえびの市の大切な資源なのに、川内川の水質に問題があっても検査だけで問題解決のために何らかの対策をしていないし、森林も伐採されたままの場所が多く、樹木が少なくなれば水の循環がうまくいかなくなるのではないかと心配。 ・大腸菌がいるような河川水質では問題があるし、森林の植栽も進んでいない。 ・河川水質調査だけ行って、水質改善に向けての事業を行っていない。しっかり自然環境保全まで行ってもらいたい。 ・大腸菌が河川水質が高い基準で出ているのであれば、地区ごとに水質検査をして、原因の地区に堆肥の撒き方など改善につながる注意喚起を行ったほうがよいと思う。
		農林整備課	A				
4	河川汚濁処理対策の推進	市民環境課	A	B			<ul style="list-style-type: none"> ・指標の目標値に達していない。
5	資源循環型社会の推進	市民環境課	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は冊子を確認するのはなかなか難しいので、広報に日頃よく出るごみの分別方法を掲載してもらえたらいいと思います。
6	学校教育の充実	学校教育課	A	B			<ul style="list-style-type: none"> ・30人学級については、個人的にはする必要はないと思っている。6000万、7000万もかける必要はないと考えているが、やるからには臨時職員ではなく正規職員にして先生が安心して子どもの指導をできるような環境整備が必要。（臨時職員の場合、年度後半になると先生が4月以降の生活に不安を抱えながらの指導となることが懸念される。）あと、個人的には小さい頃からの英語教育は懐疑的。いくつかの単語を喋れるようになったとしても英会話力につながるのか疑問に思っている。 ・指標をみると、学校が楽しいと感じる子どもの割合が少し低く感じる。地域活動への参加率も特に中学生が低く感じる。この部分は問題意識をもって取り組んでいただけたらと思う。小中一貫校の内容を市民が知らない人が多い事は問題だと思う。いいことなのでもっとPRするべきだと思う。 ・タブレット端末に関しては授業だけでなく、自宅にも持ち帰らせネット環境がなくても使うことに慣れさせてもらいたい。 ・きめ細やかな授業を行うのであれば、若手の臨時講師がクラスをひとつ担当するのは大変なので、可能であれば人数が30人を少しオーバーしても若手の臨時講師はベテランの先生の補助につけて2人で授業を行った方がお互いに良いと思います。
7	農業の振興	畜産農政課	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・農業にインターネット技術等を取り入れることも必要と感じました。 ・事業を進めるためには担当課だけでは難しい状況があると思うので、事業に関連する課と連携して事業を進めた方がいいと思います。 ・6次化産業に関しては、以前と比べて事業が拡充されているので、もっと事業費が増えてもいいのではないかと。農家さんの心を動かさないとダメだとは思いますが、きめ細かな事業を今後たくさん取り組んでいけば担い手を増やすことも可能だと思います。 ・えびの市はジビエ料理に力を入れてもらいたい。観光客や市民が消費し、鳥獣の捕獲数を増やせば、猟師の方も収入が増えると思います。
		農林整備課	A				
8	地域医療体制の整備	市立病院	C	B			<ul style="list-style-type: none"> ・市内に産科がないことで妊婦が不安に感じていると聞いたことがある。地域医療で対策はしていると思うが、できれば市内に産科がほしい。 ・地域包括ケアに関して手厚くしていけば高齢者も多いので、収益が見込まれる。是非、力を入れてほしい。現在のスタッフでできるサービスを考えて行ってほしい。 ・現在、施設の建替えや高額な設備投資は財政的に困難ということであるが、いつかは建替えや設備の老朽更新も必要になるので、将来構想及び病院の更新計画（長期計画）の作成が必要。 ・医師確保に関しては、病院施設の充実など医師が働きたくなくなるような職場づくりが必要だと思います。
		健康保険課	B				<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズに沿った病院経営をした方がいいと思います。市が運営しているどうしても経営が疎かになりがちです。高齢化率の高いえびの市のニーズを把握し、経営に力を入れることが必要だと思う。そうすることで、西諸地区において市立病院がどういう立ち位置の病院になればよいかわかるようになると思います。黒字経営を目指すことも医師確保の活動につながると思う。